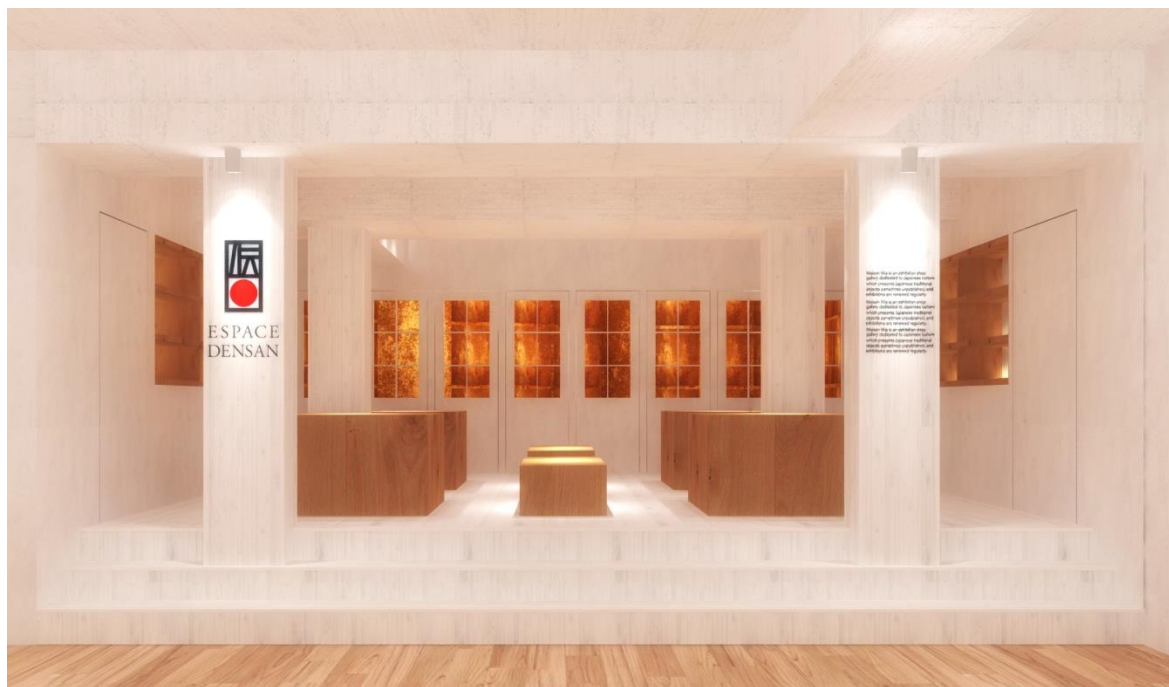


10月1日 <開店> 伝産協会 パリのショールーム ESPACE DENSAN



一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会（以下、伝産協会）は、伝統的工芸品の海外販路拡大を目的とする常設ショールーム「ENPACE DENSAN」を10月1日よりフランス・パリに開設いたします。



[概 要]

- 店 舗 名： ESPACE DENSAN
- 期 間： 2016年10月1日（土）～
- 所 在 地： 8bis, rue Villedo 75001 Paris (Maison Wa 内※²)
- 主 催： 一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会
- 企画協力： SAS ENIS

www.espacedensan.com

【 趣 旨 】

日本では古来より多くの手仕事品が生活用品として愛用され、その製作技術・技法も長い歴史の中で人々に受け継がれてきました。そしてライフスタイルの変化とともに、それらは革新を遂げてきました。

一方で、世界では産業の工業化が進み、ほとんどの国で産業としての手仕事が無くなりつつあるのが現状です。この状況に反して世界の消費者は、オリジナリティや安全・安心性を求めて、手仕事品を求める傾向にあります。

そのような高品質な手仕事品の代表ともいえる「伝統的工芸品」の需要が高く、欧米全体へのトレンド発信地でもあるフランス・パリに、伝産協会※¹はこの秋ショールームを形成し、継続的に現地バイヤーへの訴求力を高める取り組みを展開してまいります。

ESPACE DENSAN では、伝統的工芸品＝「DENSAN」を世界的ブランドに成長させると同時に、産地事業者の訴求、B to B 取引のサポートを行うことで、各事業者が独自ブランドとして海外へ展開していくための礎とすることを目的とします。展示は定期的に新しく入れ替わり、より多くの方々に伝統技術への理解を深めていただくため、作り手の実演や講演など、様々なイベントを企画してまいります。

【 ショールームの主な役割 】

- (1) 高品質な手工業品を求めるバイヤー、ディストリビューター、インフルエンサー、メディア等に対する訴求・営業
- (2) 伝統的工芸品の B to B 商談、イベント開催
- (3) 伝統的工芸品産地事業者へのフィードバック

【 10月～11月 出展者 】



(有)平戸洸祥団右工門窯
(三川内焼／長崎県)



BITOWA FROM AIZU ((株)小沼漆器店)
(会津塗／福島県)



鑄心ノ工房
(山形鑄物／山形県)

※ 1 一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会とは

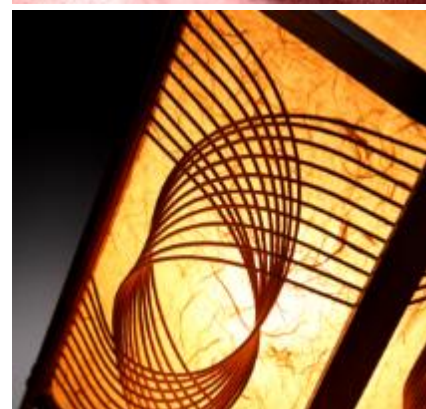
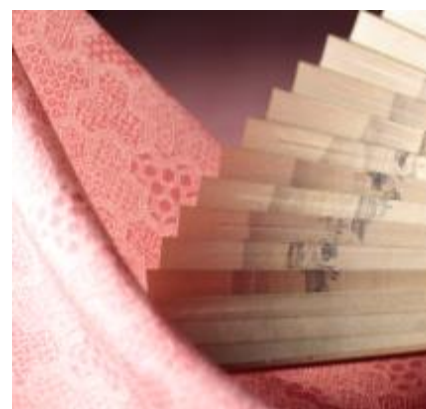
一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会（略称：伝産協会）は、日本の伝統的工芸品産業を振興するため 1975 年に経済産業省の支援を受けて設立されました。日本各地には陶磁器、漆器、染織、和紙など多様な工芸品があり、なかでも経済産業大臣の指定を受けている伝統的工芸品は現在 222 品目に亘ります。当協会は、各種事業を通して全国の伝統的工芸品産業の振興を図るとともに、産地と使い手をつなげる「伝統工芸 青山スクエア」（東京都港区赤坂 8-1-22 赤坂王子ビル 1F）を運営しています。

<http://kougeihin.jp/>

※ 2 Maison Wa とは

Maison Wa は、パリ 1 区に位置するショールーム・イベントスペースを兼ね備えたコンセプトショップ です。約 150 平米の空間では、日本全国から集めたより選りの伝統的工芸品や日用品などを常時紹介、展示販売しており、幅広い客層を対象に、作り手の実演やテストマーケティングイベントなども数多く行っています。

伝産協会は Maison Wa のインショップとして専用スペース「ESPACE DENSAN」を構え、日本の伝統的工芸品を更に活発に世界へ訴求する場として、様々なプログラムを展開してまいります。



プレスに関する問い合わせ先：
（担当：安藤）

〒107-0062 東京都港区南青山 5-10-11
菅谷ビル第一菅谷ビル 2F
E-mail: info@sasenis.com
TEL: 090-2672-2720

主催者問い合わせ先：
一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会
（担当：福田、宮本）

〒107-0052 東京都港区赤坂 8-1-22
赤坂王子ビル 2F
E-mail: kikaku@kougei.or.jp
TEL: 03-5785-1001 FAX: 03-5785-1002

※プレス用写真データもご用意しておりますので、必要な際は上記プレス担当者までお問い合わせください。